

## 2024年度第6回音環境運営委員会議事録

記録：小柳慎一郎（幹事）

日時：2025年3月11日（火）17:00～19:00

場所：Zoom を用いたリモート会議

出席者：池上雅之（主査），小柳慎一郎（幹事），佐藤逸人（幹事），會田祐，上野佳奈子，安田洋介，田中学，古賀貴士，川井敬二，坂本慎一，羽入敏樹，佐久間哲哉，富田隆太，中澤真司，濱田幸雄，星和磨，辻村壮平（敬称略）

欠席者：平光厚雄，佐藤洋（敬称略）

### 提出資料：

資料6	2024年度第6回音環境運営委員会__議事次第
資料6-0	2024年度第5回音環境運営委員会議事録(案)
資料6-1	第4回環境工学本委員会資料
資料6-2	環境工学委員会予算・設置期間（音環境）
資料6-3	音環境運営委員会 小委員会・WG活動報告
資料6-4	「集合住宅の音環境性能規準」の今後の展望(3)採否報告
資料6-5	小委員会・WG合同意見交換会 会場から得た知見の集約
資料6-6	小委員会・WG合同意見交換会 事後アンケート結果
資料6-7	小委員会・WG活動報告入力シート

### 1) 前回議事録の確認

- ・ 原案通り承認された。（資料6-0）

### 2) 環境工学本委員会の報告（資料6-2）

- ・ 個人情報漏洩の事案が発生。情報取扱いに注意し、関係者は速やかに運営委員会・事務局へ連絡すること。
- ・ 大会のプログラム編成方針が示された。関係者は内容を確認すること。
- ・ 次期環境工学委員長は赤司先生に決定。
- ・ 会員外の委員には、可能な範囲で入会を働きかけること。
- ・ 廃止予定の小委WGのオンラインストレージは3/23までに利用停止される。音環境運営委は対応不要のはずだが万が一のため継続の小委・WGはデータ抽出・バックアップを行うことが望ましい。
- ・ 成果のデータ公開に関する意見照会のアンケート結果が公開された。
- ・ デジタル化候補資料として音環境からは「音響材料の特性と選定」がリスト化されている。公衆送信許諾が著者から得られデジタル化の作業に移る。事務局の通達があり次第、各運営委員会が編著委員会に対して許諾をとる。
- ・ 学会役員からの指摘に対して各委員長が回答する「委員会活動への所見に対する回答」が共有された。
- ・ 若手優秀発表の実施状況が紹介され、音環境は目安10%に近い13%であった。
- ・ 学術講演会プログラム編成方針が公開された。内容に大きな変更はない。関係者は詳細を確認頂きたい。
- ・ 司法支援会議の会員候補者の推薦を募集している。推薦者がいる場合は現在ご担当されている中澤委員とご相談頂きたい。
- ・ 刊行予定書の審議対象は今回は他分野のみであった。音環境に関しては26年度刊行予定の「集合住宅の音環境性能規準・設計指針」、「建築空間の吸音設計規準・指針」、「建物の音環境設計のための実用的計算方法」がリスト化されている。
- ・ 子どものための音環境WGのWG設置申請書を受理。
- ・ 会員外の委員委嘱について、可能な範囲で学会員になって頂くよう幹事から依頼する。
- ・ 委員の委嘱・解嘱の名簿案が提出された。

### 3) 審議事項

審議済みの案件。

- a) 若手優秀発表 審査方法の変更の件について、1/7に「変更なし」で池上主査から事務局に連絡済み
- b) 2025年度の運営委委員会の予算（資料6-2）
  - 1/10に事務局より2025年度運営委員会の予算が¥505,000との連絡あり。1/14に池上から分配案を提示、1/16に異議なく承認。分配額は事務局へ連絡済み。
  - 2024年度予算¥517,000のうち¥249,244が残。運営委内で融通可能なため、25年度も有効活用頂きたい。
- c) 新設小委・WGの委員公募
  - 1/14に事務局から新設小委・WGの委員公募有無について問い合わせあり。各主査が1/27までにFormへ入力済み。企画・広報WG（小柳）：公募なし、室内音響啓発コンテンツ企画WG（青木）：公募あり、重量床衝撃音の数値解析検討WG（平川）：公募なし
- d) 小委の委員の入替
  - 1/15に事務局より、設置から3年経過の委員会に委員入替の確認あり。2/10に川井先生（次期主査）から運営委員会に入替案を連絡し、2/17に異議なく承認。川井先生より事務局に報告し、先の委嘱・解嘱名簿案に反映済み。
  - 建築音響測定法小委【退任】平光厚雄、平川侑→【オブザーバー】平光厚雄、平川侑に修正
- e) 来季の運営委員会の委員構成について、2/13に次期主査の川井先生より運営委員会に連絡。2/17に異議なく決議。川井先生から事務局に連絡し、先の委嘱・解嘱者名簿に反映済み。
- f) 小委員会活動成果報告書の提出の件、2/14までに受理した各小委提出物を池上主査が事務局に提出済み（資料6-3）
- g) オーガナイズドセッションの採択の件（資料6-4）
  - OSテーマ「集合住宅の音環境性能規準の今後の展望」に対し、5件の投稿あり。
  - 採択判断は集住小委に委託され、全件採用と決定。運営委員会でも異議なく承認され、3/7に池上より事務局へ報告済み。

新規・継続審議の案件

- a) 大会プロ編の件（2025年度運営委員会へ依頼）
  - ASJ 研発と日程が重なる件は、次期運営委員会主査の川井先生にて、AIJ の日程を出来るだけ前半・後半のどちらかにまとめるべく、パラレルセッションの実施をプログラム編成事前連絡会と調整頂きたい。
- b) （報告）3/3の意見交換会の振り返り
  - 意見交換会を開催した感想を、各小委・WG主査から報告（資料6-5）  
得られた意見は有意義なものであった。参加できなかった小委・WGメンバーの方々にも共有いただきたい。
  - 開催後のアンケート結果を企画広報WGから報告（資料6-6）
- c) 今後の意見交換会の継続適否と開催頻度に関する件
  - 池上主査より3つの案（案1：4～5年毎、案2：2年毎、案3：毎年）が提示され、これに対し下記の意見があった。
    - ◇ 2年以下の頻度だと新しい議論にならない可能性がある。4～5年毎が良い。
    - ◇ 外部の意見を取り入れる会として4～5年毎か2年毎が適当。運営委員会内の閉じた（運営委のあり方を議論する）意見交換もあった方がよい。
    - ◇ 案1あるいは2の頻度で継続した方がいい。活動計画の作成前の3年目後半や4年目の前半に開催し、得られた意見を次期の活動計画に生かせとよい。
    - ◇ 次期活動計画時点であっても次期主査が決まっていないのが実態ではないか。新旧主査が参加し議論できる今回の3月開催は良い選択であった。なお、以前環境工学本委員会でも各運営委の活動報告会を2年に一度開催していたが形骸化した。
  - 以上の議論を踏まえ、小委員会の設置期間に合わせ4年毎に年度末に開催することとする。

d) 今後の運営委員会の在り方の検討を企画広報WG に依頼する件

- 意見交換会のアンケートでは運営委員会の在り方にかかわる様々な課題が指摘されたが、運営委員会は報告と決議の場であり十分な議論が難しい。そこで次の2点を諮りたい。
  - ◇ 今後の運営委員会の在り方の検討を企画広報WG に依頼すること（目標検討期間2年）。
  - ◇ 企画広報WGの検討結果の採否を運営委員会で審議すること。
- 下記の意見があった。
  - ◇ 企画広報WGの活動ミッションの解釈を拡大している。新たにWGを立ち上げてよい内容だと思う。
  - ◇ 企画広報WGは出版・見学会などのWGであり構成メンバーも運営委員会の組織の在り方や小委構成を検討するものではない。運営委の状況を理解されている方が適当であろう。
  - ◇ 運営委員会主査経験者も交えて情報を整理し案を取りまとめて上申するまでを企画広報WGが担当し、決議に向けた議論はあくまで運営委員会で行うと考えていた。検討期間中に複数のラリーを行いまとまっていく想定であった。
  - ◇ どこまで踏み込むか定まらない状態で企画広報WGに依頼しても検討は進まない。
  - ◇ 企画広報WGの本来の活動を考えると過負担であろう。次期の運営委員会であれば川井次期主査が中心となって決めていけば良い。
  - ◇ WGは必要に応じていつでも設置可能であるため、川井次期主査のもとで適任者を選定し、新たなWGを立ち上げて議論を進めることが望ましい。
  - ◇ 小委・WGにはミッションを決めて時限的に設置するものと、学会として活動し続ける常設のものがある。今後の運営方針については議論を重ね決定していくことが適切である
- 上記議論から、企画広報WGは意見交換会のアンケート結果の分析を行い25年度前期を目途に運営委員会で報告する。運営委員会はその報告を受けて主査を中心に運営委員会の在り方を議論することとする。

#### 4) 各小委員会・WG の活動報告

##### ① 固体音小委員会（平光）

- ・ 前回からの開催なし。日程調整がつかず、今年度の活動は終了。

##### ② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田）

- ・ 2月12日（水）17:00～Zoom会議を開催。提出した活動成果報告書に関する追加の質疑、2025年度活動体制についての意見交換、3月3日開催の意見交換会への対応について、発表資料を基に討議した。
- ・ 2025年度大会OSについて、採択の可否をメール審議した。特に意見はなかったので5編すべて採択として音環境運営委員会へ報告した。

##### ③ 建築音響測定法小委員会（會田）

- ・ 今年度第6回を2月14日に開催。
- ・ 次期幹事として會田主査および酒巻委員が就任することについて承認された。
- ・ 平光委員、平川委員は今年度で退任するが、今後オブザーバーとして参画することについて承認された。
- ・ 第5回「外装部材の風騒音調査ガイドライン検討WG」の報告を行った。
- ・ 年度末意見交換会の発表方法について議論を行った。
- ・ 低音域の室内音場の測定評価に関する検討として、BEMを用いた不整形室での精度検討結果、ならびに理論検討結果について報告があった。
- ・ 次回開催日調整中

##### ④ 室内音響小委員会（上野）

- ・ 第5回を1/27に開催
- ・ チュートリアルシンポジウムに向けた階段室での吸音材設置の再試行を行い、デモの内容について検討した。
- ・ 室内音響啓発コンテンツ企画WGより、NOTEの配信状況（12月2件）、新メンバーについて報告があった。

- ・吸音設計AIJES検討WGより、シンポジウムのプログラム及び申込状況、今後の計画について報告があった。
  - ・意見交換会の資料案について内容の確認を行った。
  - ・小委員会活動報告案について確認し承認した。次年度佐藤逸人先生に新たに委員を委嘱することとした。
  - ・3/4に第84回音シンポ「建築空間の吸音設計に関するAIJES策定に向けて」を開催した（参加者約100名）。
  - ・次回は4/21(月)に開催予定。
- ⑤ 音響数値解析小委員会（安田）
- ・本日まで委員会開催なし。報告なし。
  - ・第4回委員会：3月26日（水）に開催予定。
- ⑥ 音環境規準検討小委員会（田中学）
- ・今年度第5回の小委員会を2/5（水）に開催。
  - ・吸音設計AIJESおよび集合住宅音環境AIJESの作成進捗状況について情報共有した。また、2025年度設置の「オフィス音環境AIJES検討WG」は、事前準備のプレWGが開催された。
  - ・「小委・WG意見交換会」のPPT最終案を確認した。
  - ・次年度の委員構成として、上野先生が委員に就任し、岡野委員・平光委員がオブザーバに変更となる案が示され、当小委員会として了承された。
  - ・次回は4月下旬頃に開催予定。
- ⑦ 企画・広報 WG（星）#欠席のため池上主査が代理で報
- ・1/23, 2/19 意見交換会のためにオンライン会議を開催.
  - ・3/8 意見交換会後のアンケート・意見集約のまとめ資料を作成
  - ・建音検索：AIによるDB作成，ラベリングについて小柳幹事が予備調査を実施
- ⑧ 実用的遮音計算方法WG（古賀）
- ・（報告なし）
- ⑨ 子どものための音環境WG（川井）
- ・2/14に意見交換会に向けたオンライン会議を開催。発表資料を通して各委員の取り組みについて共有するとともに、WGの今後の方向性について検討した。
  - ・次期は主査をエバンズ委員に交代する。
- ⑩ 環境心理生理運営委員会（辻村）
- ・（報告なし）
- ⑪ 環境振動運営委員会（富田）
- ・（報告なし）
- ⑫ 司法支援建築会議（中澤）
- ・2/10(月)に普及・交流部会を開催。2009年度より大会附属行事として毎年度開催している建築紛争フォーラムの企画等について審議した。
  - ・今年度は9/8(月)13:30～17:00に九州大学筑紫キャンパスC-CUBE筑紫ホールにて「アスベストを巡る建築関連紛争の現状と課題ー九州建設アスベスト訴訟を中心にー」と題して開催する予定。
  - ・参加対象者：司法支援建築会議会員、建築関係者、裁判官、弁護士、一般市民
  - ・目的：建築紛争を未然に防止する方策等の意見交換
- ⑬ ASJ建音研（上野）
- ・特に報告事項なし。
- ⑭ ISO（佐藤）
- ・特に報告事項なし。

## 5) その他

- ・ 特になし

## 6) 他学会・研究会の予定

- ・ 来年度のAIJ大会は2025年9月9日～12日 九大 伊都キャンパス  
(ASJ研発は9月10日～12日 東北工業大学で日程ラップ)
- ・ ASJ研発：春季3/17～19埼玉大
- ・ INCE研発：春季4/17オンライン、秋季11/11～12水戸市民会館

## 7) 今後の開催予定

2024年度は開催なし

(2025年度の日程調整やzoom URLは2025年度運営委員会の体制で対応ください。)

以上